

施策評価表(平成19年度の振り返り、総括)

作成日 平成 20 年 4 月 30 日

施策No.	27	施策名	生涯スポーツ社会の推進
主管課名	スポーツ課	主管課長名	上田 高志
関係課名			

施策の目的 【対象】	市民	対象指標名	単位	17年度	18年度	19年度
		人口	人	46,913	46,723	46,459

施策の目的 【意図】	・市民の誰もが気軽にスポーツに親しんでいる。 ・スポーツ活動に活発に取り組んでいる。	成果指標名	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	22年度目標
		週1回以上スポーツをする市民の割合	%		23.6	-	50.0
		地域スポーツクラブ数、会員数	団体	3	3	4	6
			人	3,291	3,393	3,582	4,800
		スポーツ少年団加入率	%	39.1	39.2	37.6	40.0
スポーツ大会への参加者数	人	15,480	15,278	16,145	13,000		

成果指標設定の考え方	市民が年齢、体力に応じて気軽にスポーツを楽しんでいる状況について、1週間当たりのスポーツ実施率で捉えることができるので、これを成果指標とした。 地域スポーツクラブ数、会員数の増減を見ることで、どれだけの人が多様なスポーツを楽しんでいるかがわかるので、これを成果指標とした。 スポーツ少年団加入率を見ることで、子どもがどれだけスポーツに親しんでいるかがわかるので、これを成果指標とした。 スポーツ大会などへの市民の参加者数をみることで、どれくらいの人スポーツ活動に活発に取り組んでいるかがわかるので、これを成果指標とした。
------------	---

成果指標の把握方法(算定式など)	スポーツ課の市民アンケート調査により把握 (スポーツに関する市民アンケートを5年毎に実施)。 「魚津市の生涯スポーツ年報」による。 スポーツ課の資料により把握。 「魚津市の生涯スポーツ年報」による。
------------------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	市民	・スポーツクラブを自主的に運営していただく。 ・地区で各種スポーツ事業に自主的に取り組んでいただく。
	行政	・スポーツ環境の整備(施設整備、人的支援、スポーツクラブ育成支援、スポーツ事業の支援、実施)を行う。
	その他	

施策No.	27	施策名	生涯スポーツ社会の推進
19年度の 評価結果	1. 施策の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)		
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述)		
	週1回以上スポーツをする市民の割合は、調査方法の違いもあり32.0%から23.6%に落ち込んでいる。総合型地域スポーツクラブは4団体となり、会員数も17年度に比して291名の増となっている。スポーツ少年団は、児童数が減少傾向にあり小規模校では単独校でチーム編成が出来ないところまでできており、加入率も少し下降気味である。スポーツ大会への参加者数は、毎年大会数に変動はあるものの19年度はしんきろうマラソン等の参加者増により16000人台となっている。		
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)		
	拠点型スポーツクラブとして魚津スポラ、地域スポーツクラブとして大町、天神スポーツクラブに続いて本年2月にスマイル本江が立ち上がり、合計4団体となり県内においてもスポーツクラブの組織率が高い。		
	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)		
	魚津市は、県内においてもスポーツ施設が充実している方であり、アンケート調査においても7割の方が充実していると答えている。また、学校体育施設の夜間開放で体育館やグラウンドも多いに利用されており、市民の生涯スポーツの普及に役立っている。		
2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)			
平成17年度以降、スポーツクラブの育成支援を2地区で行なうと共に、スポーツクラブ設立の住民説明会等を9地区で実施したり、スポーツクラブの立ち上げ等についての研修を実施してきた。これらの活動により、総合型地域スポーツクラブの運営については、県内でも先進地である。平成20年2月に4箇所目の総合型地域スポーツクラブである「スマイル本江」が設立された。 体育指導委員協議会を中心に、ニュースポーツの指導・講習会を開催する等スポーツの普及に努め、小学生も含めたニュースポーツの大会が実施されてきている。			
3. 施策の課題認識及び20年度の取り組み状況(予定) (19年度末で残った課題、既に20年度に取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
既存総合型地域スポーツクラブの活動情報を提供する等市民への周知に努めると共に、会員数の増加や財源の確保が図られ、継続的、安定的な運営が行なわれる体制づくりのための支援、指導に努める。 スポーツ施設は充実しているものの、建設からかなりの年数を経過した施設が多く、計画的な修繕維持管理や改修の方向性等を検討し、住民が利用しやすい施設整備に努める。			

施策の トータル コスト	区 分	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	18			
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	247,988				
C. 事務事業に要する年間総時間	時間	4,540				
D. 人件費 (C × 1時間あたりの平均人件費)	千円	18,659				
E. トータルコスト (B + D)	千円	266,647		0	0	0
効率性 指 標	対象(受益者)1単位あたり、若しくは市民1人あたりの施策の	円	5,308			
	F. 事業費 (定義式 : B / 46,723)					
	同 上 G. 人件費 (定義式 : D / 46,723)	円	399			
	同 上 H. トータルコスト (定義式 : E / 46,723)	円	5,707			